新京日日新聞
夕刊
一月(十五)日(月)
發行所 新京日日新聞社
發行人 千歳 參二
編輯人 松本 啓二郎
印刷人

滿鐵改組問題の檢討(三)
特務部案は對滿投資に妥當なり

岡本理治

滿州、ニユージーランドは統制經濟の最も盛なる所なるが、ニユージーランドにては信託を以て營業してゐる。是は遠き異郷の殖民地における榮養孤獨を保護する主旨なるべきも國家が信託を受くることは正に預金保險と同一性質のものである。統制經濟に立たんとする滿洲にて保險付投資の實を全ふすることを得るは日本の投資家に取りて誠に幸福のことと謂はねばならぬ

×

數年前滿鐵の信託會社は(後に證券會社と改稱)私が之を立案せしが當時の傍系會社の平均配當率は六歩位なりしと記憶する。今滿鐵を分解して各事業全部を子會社とするとも其配當率平均は八分位なるべし、是れ滿洲產業全體の平均して擧け得る配當率である。故に國家全體の產業が保證し保險する配當率である滿洲としては最も確實なる利益である。現在日本にては定期預金にても信託預金にても多くは四分以下であり利率高きものにても四分を出づる多からざるものである。之には保險的性質はない然し滿洲投資は八分以上の期待はあり且つ保險的性質に在る。正金銀行は歴年一割配當の据置きであり、其株價は高い、是は配當の不動と利潤の確實性即ち保險的性質に包因するものである。故に賢明なるものは滿鐵株の買方に廻るべきで、賣手となるべからざるものと確信する

×

ホールディング、コンパニーの利潤問題に關連して滿鐵を分解して單なるホールディング、コンパニーとなさば分離會社利益の社內保留其他の隱匿行爲をなし、ホールディング、コンパニーに利益配當をなすことなき故、ホールディング、コンパニーは立ち往かざるべしとの論が滿鐵や民間に在るが、是は何かの考へ違ひに非ざるかと思ふ。滿鐵が形態上分解されても實質的事業には變化なき故に其收益能力に變化のあるべき筈がない如之率直に謂へば從來は本社も傍系會社も所謂溫室的で仕事振りが非能率的でありしことは爭へぬ。然るに分解して各會社能率上の競爭をなすに至らば利益は增しこそすれ減ずる筈はないのである。是はホールディング、コンパニーの會計事務に就き正解せざるに原因するものかと思れる。ホールディング、コンパニーの貸借對照表の作り方には二つあり、一つはリーガル、バランス、シートと謂ひ、他はコンソリデーテツト、バランス、シートと稱せらる。リーガル、バランス、シートは主として英國に行はるるものにて法律的貸借對照表と譯するべきものである。即ち親會社の貸借對照表の中に子會社への投資を原價又は時價にて記載し子會社の配當金を損益勘定の中に組入るものである從て時價にて投資證券の評價を記載せる額が子會社の資產の正當の評價に當らざる時は社內保留又は隱匿は出來る譯である。然し之は英國にても公認會計士等の非難する所であつて漸次コンソリデーテツトの方式に移りつつある。コンソリデーテツト、バランスシートは米國に盛行するものにて、ホールディング、コンパニーの典型であるユー、エス、スチール會社の如きも此方式によつてゐる。コンソリデーテツト、バランスシートは綜合貸借對照表と譯さるべきものにて、親會社子會社の全資產負債並に損益を綜合し其內より子會社にホールディング、コンパニー以外の方面によりて所持さるる株式の數に相當する資產負債並に損益勘定を表上に記載の上控除しホールディング、コンパニーに屬すべき正味の資產負債並に損益勘定を表すものである。是は前記のリーガル、バランス、シートが株主や債權者等にホールディング、コンパニー並に子會社の內容を明瞭にせず、從て株價にも惡影響あるを以て、此方式を採るに至りしものにて、是れならば假令子會社の方に社內保留並隱匿ありとも、表上に明瞭に表さるる故株價は之により敏感に動き、決してホールディング、コンパニーの眞價を誤ることはない。子會社の社內に利益保留又は隱匿あらば夫丈子會社の資產狀態を良好にし、當然コンソリデーテツト、バランス、シートに現るる故當該子會社並に親會社たるホールディング、コンパニーの株價を良好にするは明である。然らはホールディング、コンパニーの配當が假令少きことあるも株價の昂騰により株主に取りては反りて良き影響を與ふべし

×

ユー、エス、スチール會社にては親會社子會社の資產、負債、損益勘定を一括して一表となし、各期の純益を計上してゐる。是は正に、ホールディング、コンパニーに最も妥當のことである。滿鐵は商法一九四條を楯に取り子會社の內保留によりて、親會社の配當の減額さるべきを主張せるらしきも、現行日本商法は明治三十二年九月の發布に係り(當時ホールディング、コンパニーの如き經濟機構は夢にも豫想せず、規定頗る幼稚である。故に其改正を叫ぶ聲、識者の間に高く、數年內に改正さるべき運命にある。故に現下の法律を超越して、經濟の現實に即する取扱をなさねばならぬ。之を爲し得る會計學的處理法はいくらもある。之をなし得ざるは滿鐵の非經濟人的無能である
吾等は同胞か下らざる迷論に惑さるることなく、深き觀照を以て　明治大帝の御偉業完成をのみ念とし精進倦ざることを盼望するものである(完)

滿洲國金融の概況(五)

關東軍特務部　小池寛

國幣の一圓とは純銀二三、九一瓦を現はすものと貨幣法で定められて居るから銀が金に比して高くなれば國幣も高くなるべきであるが國幣は不換紙幣であるから直ちに之は肯定されない、然し二三、九一瓦と云ふことは現大洋錢一圓の純分を表するもので滿洲には現大洋錢が澤山あるから若し國幣と現大洋との間に値鞘が出來ると國幣と現大洋との間の脫換請求が現はれて來て銀紙の開きは事實上決められることになつて居る從つて國幣價値の上下が現銀と金との價値變動により動搖し、國幣は現大洋に從つて上海銀相場に比例して動くことゝなる。然し之には財政部及中央銀行の處置如何が關係して來るのであつて現大洋と國幣との値開きを如何に見て行くかに依つて異る。中央銀行創立以來銀紙の開きの出來ると中央銀行が積極的に出動して處置したこともあり又國幣が現大洋より下値となつた時錢舖等が兌換を願出たのに應じてやつたことも創業當時混沌たる頃には一、二度はあつたが、其後は如何なる作爲もやつて居らず又其要求もない故に現大洋錢との結び付きと云ふ事は左迄重視する必要はなく今回の國幣の價値の維持は中央銀行自体の信用の向上及財政確立の爲めであると見る方が妥當である
今一つの原因と見られる點即ち發行額と實需との關係は重要なる條件である
國幣の發行額は九月十月頃を見ると一億一千萬圓位を前つてゐる、昨年の今頃の直後財產混亂の裡に漸く萎縮して居た時で三千萬圓位の發行高の膨れ居たのに今日產業開發の機運に入つて二割近くも增して、と云ふこと〻見ても發行高の過少なる、從つて需要と供給が喰ひ違つて居るから貨幣價値が上騰して居るのであると見られるのである
要するに今日に到つた原因に就ては種々な理論はあるが不換管理紙幣である國幣の價値は發行額と實需額との關係に依つて決定されるものである〻しながら此關係の圓滑を圖るには國家各機關の整備を俟たねばならないのである

滿洲國は躍進する(七)

外交部宣化司長　川崎寅雄

五、貿易の動向(單位海關兩)

年度	輸出	輸入	計	入出超
一九三一	四七三、八六八、九六一	二二八、四九八、九六二	六九二、八一七、九二三	二四四、九六九、九九九(出超)
一九三二	三九四、六九九、〇四〇	一九三、九九一、九〇〇	五八八、六九〇、九四〇	二〇一、七〇七、一四〇(同)
一九三三(一月乃至七月)	二〇六、三〇七、九〇五	三六七、七二六、九三五	五七三、〇三四、八四〇	一六一、四一九、〇三〇(入超)

最近三ケ年間に於ける滿洲國の外國貿易動向を見るに一九三一年度貿易は同年春期中に於ける事變の影響、支那海關の二重課税、北滿大洪水等惡材料の爲め前年に比し總貿易額一〇四、八五七、〇〇〇兩一割五分、輸出七八、九〇〇、〇〇〇兩一割六分、輸入二五、九五七、〇〇〇兩一割一分夫々減退を示したが翌年度何れも二五四、九一九、九六九兩(一九三一年)二〇一、九七七、一七〇兩(一九三二年)の出超になつて居る、然るに一九三三年度に於て我國內產業開發各種建設事業勃興の爲め輸入貿易著るしく進展し七ケ月間に於て前年並前々年度一ケ年間分に比するも非常なる激增振りにて總貿易額に於ても前年度と殆んど伯仲の間にあり、然るに輸出貿易は世界一般財界不況に祟られ活氣を見せず結局約二百四十萬兩の入超となつて居るが入超は滿洲貿易史上稀に見る現象である從來出超國として知られた當國が產業開發建設事業勃興の爲め世界的輸入商品のマーケツトに轉換する段階にあるものと見られて居る

大同元年(一九三二年)輸出入貿易主要國別表(單位千海關兩)

國名	輸出	輸入	計
日本	一三一、六〇四	一〇四、一二五	二三五、七二九
朝鮮	二七、二二九	八、二二二	三五、四五一
支那	一〇八、九五三	二五、三三八	一三四、二九一
露國	二一、六六八	一、四〇八	二三、〇七六
香港	三、四三九	五、一八六	八、六二五
英領印度	一、三六一	一一、七九五	一三、一五六
蘭領印度	三、四七二	一三八	三、六一〇
英國	七、〇六九	四、五五六	一一、六二五
佛國	一、九四一	六四	二、〇〇五
獨逸	四〇、四〇一	一、六九八	四二、〇九九
ベルギー	九六七	七三	一、〇四〇
和蘭	四、四〇〇	一〇七	四、五〇七
伊國	一、三九九	八五	一、四八四
米國	三、三三三	一一、三七七	一四、七一〇
其他	五〇、八〇七	二、七九六	五三、六〇三
計	三八四、四六二	一九二、九九二	五七七、四五四

日滿戀曲　生命線を行く(讀上演上映)(六十五)

國友雄吉
(荒川芳三郎畫)

日本軍來る!
しかし、如何に踏ん張つてみたところで、凡そ限りある人間の力であつた。
このまゝで、もう一週間も棄て置かれたら、恐らく俳一は、この冷たい禁獄室の床板の上に、冷たい屍を横たへたであらうかも知れなかつた。彼の生命こそ、まさに風前の燈火といふべきであつた。
しかし彼は、死の魔手が、自分の身に迫つて來つゝあることを忘れて、唯一圖に、茂彦や市子の名を呼び續けた。
素子の姿を、如に描き、その名を呼びつゞける時、泥沼のやうな彼の心の一隅に、油然として湧き來るのであつた。清水のやうに噴き上つて來るのであつた。素子へのあこがれ! 唯その一縷の希望につながれて、辛うじて生きて居る彼なのであつた。
彼はもう、月も日も時も忘れてしまつてゐる。拘禁されてから、今日で幾日目になるか、それさへわからなかつた。」
只、小窓の明るい時が晝間で、それが暗くなつたら夜だ、といふこと以外に、何の記憶も殘らなかつた。
今日もまた、その小窓から流れ込んで來る光りに、夜の明け放れたことを知つた彼は、やがて、例のものやうに食事を運んで來る筈の番兵の足音が、聞えて來るだらうと思つてゐる。
すると突然、ドタ〳〵〳〵と、騒々しい足音が、騒々しく床上に鳴り響れた。
「地震か!」と思つて、俳一はハツとした。
それに續いて、慌たゞしい足音が、扉の外に來て、錠前をガチャ〳〵させて扉が開いた。
いつもの食事を運んで來る番兵でなく、そこには、いつぞや俳一を取調べた、彼の日本語の巧な若い士官の顔が現はれた。
「オイ、此方へ出て來い!」
さういつて叫んだ彼は、何だか非常に狼狽してゐるやうであつた。
その瞬間。
「銃殺されるのではないか?」といふ不安が、俳一の胸を冷たく掠めた。しかし彼は、少しも躊躇しなかつた。
「なあに構ふものか。ちつとでも早く、此の室から出さへすれば。それで宜いのだ」と、考へた。
彼は、直ぐに身を起して、歩かうとしたが、もう自分の力だけでは、自分の體を持ち扱ふことはできなかつた。
一旦立ち上つたが、二歩ばかりヨロ〳〵と、よろめいて、バツタリ俯伏せに倒れてしまつた。
「チヨツ! 仕樣の無い奴だ。早く、早く、早く出て來ないか!」
士官は、焦立つて、俳一を叱るといふよりは寧ろ、彼自身が、ひどく狼狽へてゐることを物語つてゐるのであつた。
俳一は、勇氣を鼓して又起き上つた。今度は板壁に手をかけてそれを力に、ヨロ〳〵と辛ふじて扉の外へ出た。
一ぺんに明るい外部の光線に、照されて、彼は忽ち眼がクラ〳〵として、眼が眩んでしまひさうであつた。
その時であつた。
支那兵の一人が、昔のやうに外から飛込んで來た。その兵は、血の色を失つた眞蒼な顔をして居つた。そして、
「報告!」と叫んだ。その聲は上釣つてしまつてゐた。
意外!
俳一は、その兵の報告に依つて、我が日本軍が、この海拉爾に進擊して來たことを知つたのであつた。
遙かに豆を煎るやうな銃聲が聞える。海嘯のやうな鬨の聲。
兵士の報告に依つて、日本軍の先鋒部隊が、次第に海拉爾停車場に迫りつゝあることを知つた士官は、びつくり仰天。テンテコ舞をしながら、俳一を其まゝにして置いて飛出して行つた。
俳一は、思はず歡喜の涙に咽んだ。
「萬歲!」
彼は、シヤ嗄れた聲で叫んだ。同時に、意識を失つてバツタリ廊下に斃れてしまつた。

商業登記

一、三井物產株式會社變更(支店)
一、昭和八年十二月四日取締役田島繁二ハ其住所ヲ左ノ地ニ移轉ス大阪市北區中之島三丁目五番地ノ二
一、昭和八年十二月四日大阪市東區高麗橋二丁目一番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス大阪市北區中之島三丁目五番地ノ二
●株式會社支店設置
一、昭和八年十一月三十日管內ニ支店ヲ設置シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲ス
一、商號　株式會社內田洋行
一、本店　大阪市東區備後町二丁目四十二番地
一、支店　大連市榮町四番地
東京市日本橋區室町二丁目八番地四
一、目的　文房具ノ販賣並ニ之ニ附帶スル商品ノ販賣
奉天春日町一番地
一、設立年月日　大正十五年十二月十九日
一、資本ノ總額　金三十萬圓
一、一株ノ金額　金五十圓
一、各株ニ付拂込ミタル株金額　金五十圓
一、公告ヲ爲ス方法　本店所在地ニ揭示ス
一、取締役ノ氏名住所
內田憲民　大連市榮町四番地
久田忠守　大阪市住吉區住吉町千二十九番地
寶田肇一　東京市日本橋區室町二丁目八番地四
小野潤次　奉天春日町一番地
一、監查役ノ氏名住所
淸水善次　大連市榮町四番地
內田加能　大阪市住吉區晴明通二丁目七十六番地
一、會社ヲ代表スヘキ取締役　內田憲民
一、存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿三十個年
●合資會社支店設立
一、昭和八年九月二十日當管內ニ支店ヲ設立シタルニ依リ左ノ登記ヲ爲ス
一、商號　合資會社新京永樂ビルヂング
一、本店　旅順乃木町二丁目十九番地
一、支店　新京吉野町一丁目二十四番地
一、目的　貸家業
一、設立年月日　昭和八年九月二十日
一、代表社員ノ氏名　高木馬吉
一、社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金三千五百圓　無限　高木馬吉　大連市三河町二十九番地
金七千圓　有限　大西重次郎　旅順乃木町二丁目十九番地
金七千圓　有限　大西守一　旅順市乃木町三丁目二十番地ノ三
金三千五百圓　有限　宮崎
金三千圓　有限　奥村光澄　新京東三條通七番地
一、存立の時期　滿二十個年
●國際運輸株式會社社債發行(支店)
一、社債ノ金額　金一百圓　金五百圓　金一千圓　金五千圓
一、社債ノ利率　年四分五厘
一、社債償還ノ方法及期限　發行ノ日ヨリ昭和九年十一月三十日迄据置キ爾後昭和十四年十一月三十日迄ニ隨時償還ス
但一部償還ハ抽籤ニ依ル買入銷却ハ同時ニテモ之ヲ爲スコトヲ得
一、各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
右昭和八年十二月十四日登記
●合資會社親和公司解散
一、昭和八年十一月三十日有限社員前田玉治ヲ除名シ無限社員ノミトナリタルヲ以テ解散ス
●合名會社設立
一、商號　合名會社滿洲公和
一、本店　新京富士町二丁目十一番地
一、石採取權　吉林省永吉縣第四區第五保地帯小江　松花江岸士地所有主張錫三名義ノ砂利採取地五十五萬四千四百坪ノ砂石採取權以上合計六十一萬六千四百坪此評價額金四千五百圓
有限　西野耕正　吉林商埠地五經路十四號
金一千五百圓　有限　久保田鐵九郎　吉林商埠地大馬路
第十區頭家屯東下松花江岸土地所有主李伯璋名義ノ砂利採取地九百二千坪ノ砂
一號　權利一　吉林省永吉縣奉天城內小津橋北胡洞二十
金六千圓　有限　晨星五七番地
信用　此評價金六千圓　無限　木谷仁　新京東三條通
金九千圓　無限　荒木藤七　新京三笠町三丁目十番地
一、社員ノ住所氏名出資ノ種類價格及責任
一、代表社員ノ氏名　荒木藤七　木谷仁
一、目的　各種建築材料ノ販賣及仲介土木建築工事ノ請負及設計監督並ニ其附帶事業ノ一切
一、本店　滿洲國新京東三條通七番地
一、商號　合資會社亞州公司
●合資會社設立
右昭和八年十二月十二日登記
第三十九回　同　金二百九十五萬圓
第二十九回社債總額　金十四萬六千圓
昭和八年十二月一日其社債總額ヲ各左ノ如ク變更ス
一、二十九回乃至三十九回社債總額ノ內一部償還ニ依リ
●東洋拓殖株式會社變更
騎轄　大連市浪速町二丁目八番地
一、目的　土木建築請負並ニ勞力供給ヲ爲シ其他之ニ附帶スル事業ノ經營
一、設立年月日　昭和八年十一月三十日
一、代表社員ノ氏名　御代田源右衛門
一、社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
金二萬圓　木石伊之助
金五千圓　御代田源左右衛門
大連市沙河口黃金町百五十四番地
一、存立ノ時期　昭和八年十一月三十日ヨリ滿十個年
右昭和八年十二月十五日登記
●東洋拓殖株式會社變更(支店)
一、朝鮮全羅北道全山面礼六百五十八番地ノ三ノ支店ヲ昭和八年十二月一日左ノ如ク變更ス
朝鮮全羅北道金山郡裡里邑
●合資會社福昭公司變更
一、昭和八年十二月一日無限責任社員前田玉治ハ其出資ヲ爲サザルニ因リ除名ス
右昭和八年十二月十八日登記
日出町百四十五番地
●吉長窯業株式會社變更
一、昭和八年十二月十八日左記ノ者監査役ニ重任ス
北山久平　新京千鳥町一丁目
●商號新設
一、商號　丸田林田洋行
一、營業ノ種類　乾鮮果物、海產物委託販賣並ニ右ニ關スル業務
一、營業所　新京南大街東二道街口
一、商業使用者ノ氏名住所
林茂治　新京大經路三十九號ノ二
右昭和八年十二月十九日登記
在新京日本帝國總領事館

滿洲帝國出現の際 日系官吏は臣民か

國籍を如何にすべきかゞ 疑義として持上る

三月一日を期して擧行される滿洲國重大國策遂行の結果、現在滿洲國に奉職する日系官吏の國籍を如何とするかが問題となつて來た、即ち日本帝國臣民であり乍ら、臣何某として言上せねばならぬこととなるので滿洲國の日系官吏は凡て滿洲國に歸化し、滿洲國人となるべきで滿洲國に於ても建國宣言の主旨に基き日、鮮、滿、蒙露の五民族の歸化を處理するため目下國籍法の制定を急ぎつゝあり、重大國策遂行と共に全滿の日系官吏は筑紫參議以下全部滿洲國人として歸化することとなる模様である

帝制運動を繞り

外國記者團の活躍

三千萬民衆の聲に依りその實現は最早時明の問題とされてゐる執政溥儀氏が皇帝に仰がんとする

＝運動＝は全世界の耳目を惹き世界各國新聞記者の鋭き神經は今や滿洲國に集中され、最近の新京大和ホテルは宛ら外國記者團のクラブの如き觀を呈するに至つた、何れも各社選拔きの敏腕記者でアビシニアの即位式に活躍したことのある自信滿々たるエー・ピーのミルス氏を始め、フランス「ソイカ」紙派遣員レーン、ローレンス、ロンドンザ、デイリー、テレグラフ通信員ホワード、シーワルデの諸氏は早くも相前後して入京、滿洲國政府、軍、大使館の間を慌しく往來し當局の動き、民衆の聲一つでも聞き洩らすまいと緊張してゐる

殊に二十日前後に中外に聲明される政府の重大發表を前にして彼等の神經は彌が上にも昂ぶり、各國語の電報は滿洲國電々會社のアンテナを通じて交信局たるベルリン、サンフランシスコ、

＝上海＝の空に向け電波となつて飛んでゐる

執政の新紋章に就て

日本紋章學の權威 沼田博士語る

「蘭契」は日滿親善を意味

〔東京國通〕滿洲國溥儀執政の新御紋章が蘭の花に制定されたに就き我が紋章學の權威沼田博士は左の通り語つた

新に御紋章が制定されたことは慶賀の至りに堪えません、亞細亞大陸には昔から紋章と言ふべきものが全然ありませんでした支那は勿論紋を有しては居りませぬ僅かに周時代に於て政府の官人がその正裝の場合格式に從つて種々な紋章入りの衣裳を着たと三禮圖説に記されて居ます、蘭花は元來支那では最も尊重されて居る花で、我國の皇室の御紋章である菊のやうに香もよく清楚で氣品の高い花とすその上蘭契と言ふ言葉もあります如く極めて親睦の意味を有して居りますが日滿兩國がよりよく結ばれる意味からも眞に結構な御紋章と存じます

帝政運動視察の爲來滿の

排日米記者入國禁止さる

〔大連國通〕排日記者として定評ある上海ウイークリー・レビュー記者米人ホウエルは二十二日青島丸で來連したが二三日滯在の上奥地に赴き、滿洲國の帝政樹立民衆運動を視察の豫定であつたか、入國を禁止された

新識辭令

新京地方事務所

技術員　貝通丸秀雄
同　西山利雄
地方部工事課勤務を命す

新京地方事務所
技術員　山本民雄
營口地方事務所勤務を命す

元新京地方事務所工事係長
技師　小林廣次
新京地方事務所建築係長を命す

新京地方事務所
技術員　奥津五郎
土木係長を命す

奉天地方事務所
技術員　伊東眞美
新京地方事務所勤務を命す

蔡廷楷省政府に 後方移動を命ず

十九路軍も後退か

〔福州十三日發國通〕蔡廷楷は十二日夜九時省政府の後方退却を命じ來つたので、十三日各機關は事務を停止し、職員は後方に退いた

〔福州十三日發國通〕中央、福建兩軍の戰鬪は局部的に衝突を繰返してゐるが、蔡廷楷は飽く迄福州死守を決意したと傳へられてゐるが、一方既に大勢挽回困難と觀て更生の場合を考慮し、最後的決戰を避け十九路軍の後退を決意したとの情報あり成行きは重視されてゐる

福州上陸の我陸戰隊 怖告を發す

〔福州十三日發國通〕我が陸戰隊の警備は我が居留民は勿論外人支那人の非常な歡迎を受けて居るが一部支那人中には故意に曲解して虚妄のデマを飛ばすものがあり我陸戰隊司令官は一般支那人が右宣傳に乘ぜられることなき樣要旨左の如き陸戰隊上陸の主旨を明白にした怖告を發した

海軍陸戰隊は居留民の生命財産保護のため短期間の上陸をなし總領事館及び居留民を保護するものにして軍閥の戰爭には絶對に關係するものに非ず各界人士は此旨承知せられたし

〔福州十三日發國通〕昨十二日夜七時より我陸戰隊百廿名は總領事館並に居留民保護のために上陸警備に就いたが、更に今朝九時一個中隊は守屋總領事を始め官民の盛大な歡迎裡に上陸、日本人倶樂部に入つた

我居留民は勿論一般外人も我陸戰隊の警備に全く安堵の胸をなで心から感謝してゐる

中央海軍側 福州を接收

〔上海十三日發國通〕當地海軍側の情報に依れば十三日海軍部長陳紹寛は一氣に福州に乘込み、福州は中央海軍の手に依り平穩裡に接收されたと

航空國防主義の學良

北支に飛行機製作所設置計畫

伊太利で購入せる飛行機七臺も 近く上海に到着の豫定

〔天津十三日發國通〕學良は歸國後自國の軍備特に空軍の不備を痛感してドイツより兵器を購入し又イタリーより飛行機七臺を購入することになつたが、飛行機は近く上海入港のイタリー汽船で到着する筈である、一方彼は航空國防主義の下に北支那に一大飛行機製作所を設置し（場所は洛陽方面と見られて居る）純國産の飛行機の製作を計畫して居り時節柄頗る注目されて居る

現内閣の一枚看板

選擧法改正の運命憂慮さる

或は結局骨拔きにされるか

〔東京國通〕齋藤内閣にとり選擧法改正は組閣當初からの一枚看板であり、各方面に對する行掛りの上からも是非共今議會には

＝提案＝せねばならぬ政府としてもその決意の下に目下主管省たる内務省をして成案を急がしめ、既に選擧公營案比例代表法案に就ては内務事務當局の意見も纏まり、來週早々山本内相の歸京を俟つて決定を求める段取りにまで漕ぎ付け内相の決諾を得たる上は齋藤首相、山本内相に小山法相を加へて協議し、更に政府案として議會へ提出すべき政府の方針を決定するため取り急ぎ十九日の定例閣議に附議閣僚の諒解を求める方針であるが、この兩案に對する閣僚の意見は相當反對的空氣濃厚である點から觀て頗る注目されてゐる然し乍ら選擧法改正が現内閣の金看板である以上昨年の公營案の如く又閣内に於て握り潰すが如き場合は内閣の立場を自ら苦境に陷れる破目となるので、この點を考慮し首相の面目も考慮して論議の末、結局は閣議では默認する態度をとる模樣である、尤も閣議の承認を得ても更に樞府に於て果して無事通過するか否かは頗る危まれ、樞密院の不通過を見越して閣議で默認せんとする態度の閣僚もある程で比例代表制の通過は困難視され、結局政府の議會提出案は罰則規定を

＝中心＝にし公營案を加味せる當初の期待とは反した全く骨拔きのものになりはせぬかともみられてゐる

輸入組合

十二月分成績

一、貸付　本月中貸付額一五八件、金十四萬七千四百七十六圓也
回收　額一六五件、十四萬四千四百七十圓也
本月中殘高、二十七萬八千三百十九圓也

二、仕入先
（イ）現地金六萬六千七百七十四圓也
（ロ）内地金七萬七千七百二圓也
（ハ）大連金一萬二千八百圓也
四、滿鮮金一千九百圓也
五、計十五萬九千百七十六圓也

三、組合員　滿洲銀行扱新加入者一名、增加十二月末現在組合員一一三名、普通出資口數二、一七六口、特別出資口數八八四口、合計四〇六〇口

四、出資拂込額　十二月末現在普通出資拂込額金十五萬八千八百圓也、特別出資拂込額金四萬一千六百三十八圓一十錢也

五、購買傳票本月中取扱高金二萬一千百六十五圓六十錢也　取扱店數八九、使用個所六五ケ所、使用人員九一〇名

六、商品券取扱高　本月中取扱高金四千九百五十六圓也

日本製鮪罐詰に

米國産業復興運動の 青鷲マークを貼付

〔サンペドロ十二日發國通〕日本製鮪罐詰に米國産業復興運動の青鷲マークが付いて居た

＝事件＝があり日本の進出に悲鳴をあげて居るカルフオルニヤ漁業界に好題目を與へ諸種のデマが飛んで居るが調査の結果日本漁業會社には何等の責任がないことが確實となつた、問題の罐詰を輸入したローンズ、ビートの貿易商ハリー・ハー・ビル氏は十二日、日本製鮪罐詰に青鷲マークを貼布した事情を釋明し特に次の如く述べて居る、日本製鮪罐詰は荷受人たるシカゴのサミユエル・クーニン會社から特に送つて來たもので同會社の請に依るに過ぎない青鷲マークを貼付するに先立ち豫め税關當局に相談したのだが、税關當局ではサミユエル・クーニン會社が自分の商會とNIRAへの加盟員だから差支へない旨言明したので斯くて許可を得て青鷲マークを貼付したに過ぎない、罐詰にはメード・イン・ジャパンとあるが青鷲マークを貼付する前に罐詰は米國商會の所有商品となつて居るが税關當局もハーフビル氏の言明を

＝裏書＝し且つ日本品の罐詰沒收の命令はまだ接して居ない旨言明した

十二月中の 外地貿易高

〔東京國通〕十二月中の關東州を除く外地貿易總輸出七百九十六萬二千圓總輸入九百七十三萬二千圓入超額は四百十五萬七千圓減少した

日滿經濟團体のデモに ソ領事抗議

〔ハルビン國通〕在ハルビンソ聯領事スラウツスキー氏は外交部の代表、施履本に對し十二日、日滿經濟團体がトラック五十臺に分乘しデモを行ひ、且代表五名が北鐵運賃の値下げ、國幣建要求の決議文を北鐵管理局長ルデイ氏並び副理事長代理バンダウラ氏に手交せる際、群衆の一部がドア及び器物を破壞せるは暴動に等しき行爲なりと電話を以て非公式に抗議して來たが、外交特派員公署では事實調査の結果斯る行爲は無きこと判明したので、ソ聯側の抗議を一蹴した

文部省選定の

皇太子殿下御誕生奉祝歌

〔東京國通〕文部省では皇太子殿下御誕生の奉祝歌を選定してゐたが左の通り決定した

一、靜かに明くる夜の帳　瑞雲こむる大八洲　朝日たゞさすこの國に　今まびの聲滿ちて　日繼の皇子は生れましぬ　日繼の皇子は生れましぬ

二、豐葦原の中津國　皇孫ゆきて治めよと　神の宣せし大勅　今さながらに承けまして　日繼の皇子は生れましぬ　日繼の皇子は生れましぬ

三、波風四方に荒ぶとも　搖がぬ國の大やまと　奇しき運命の國民に　榮光あらせんと長くも　日繼の皇子は生れましぬ　日繼の皇子は生れましぬ

在郷軍人會員間に 會長更迭の要望起る

後任には奈良、尾野大將有力

〔東京國通〕全國數百萬の郷軍將兵を擁する帝國在郷軍人會では滿洲事變以來國防第一線として種々の活動を續けて來たが會長鈴木莊六大將が樞密顧問官たる關係上政治に制肘を餘儀なくされ兎角一般の誤解を惧れて純眞なる郷軍愛國の動きにも思ふままの活動を許さぬので、昨秋來會員有志間に會長更迭の聲が起りつゝある即ち會員間の要望は

一、在郷軍人會設立の目的より觀て樞密顧問官たる鈴木大將を會長とするは一般の誤解を受け易い

一、昭和十、十一年の國際危機を目睫に控えた現在、最高首腦部を更迭して積極的活動開始の必要あり

と言ふにある、又陸軍部内にも賛成の向が多いので鈴木會長の勇退は既に時間の問題とみられて居り、後任會長には目下の處前侍從武官長奈良大將、尾野實信大將の呼聲が高い

滿洲國大使館增員

昨日勅令で發布

〔東京國通〕十三日勅令で滿洲國大使館に一等書記官一名、書記生、通譯生を通じ十一人を增員することとなつた、右の結果新京大使館は近く在外第一の大陣容を備へた大使館となつた譯である

中央軍の三飛行機

福州飛行場爆擊

〔福州國通〕十三日午前十一時中央軍飛行機三臺福州上空に現れ、飛行場に爆彈七を投下して飛び去つたが、午後三時再び一機飛來飛行場方面を爆擊した

北鐵前督 辦莫德惠

北鐵の内部攪亂を策す

〔ハルビン國通〕事變前北鐵會議に中國側代表としてモスクワ會議に出席せる當時の北鐵督辦莫德惠は、其後ドイツで病氣靜養中であつたが、去る十二月廿一日歸中國外交部次長王家楨と相携へ上海に歸來し、同地に數日滯在の後北上に赴いた

莫德惠今次の北上目的は從前の恩顧關係を利用して北鐵滿洲國幹部を使嗾して北鐵内部を攪亂せんとの陰謀を有するもので、既に莫德惠の魔手が北鐵に延びんとしてゐる事は漸く明かとなつたので、ハルビンの官憲は直ちに嚴重なる警戒を開始した

日印會商の

小野顧問外 各委員歸朝

〔東京國通〕日印會商の政府顧問小野三郎氏外各委員は十三日神戸に入港の香取丸で歸朝した、小野氏は語る

日印會商が成功か否かは各國とも自國の立場が異るから一概に言へぬが、日本としては今後輸出品に統制を行ひ相手國に關税引上げの口實を與へない事が一番大切だ

四平街 正義團活躍

〔四平街支局發〕四平街正義團に於ては來る十六日から四日間罹目貧困者及び其の家族の無職者中より救濟の第一歩として約五十名の强壯者を選拔し四平街鐵道東劇場に於て正義團の主旨を徹底せしめ其他必要なる教育を施したる後適當な職を斡旋救濟するを目下各支部長に命じ人選中であるが、尚要記四日間中醫師を招聘し無料診療をも行ふ筈である

精神病者の死

〔四平街支局發〕去る九日哈爾賓屋住の油房店員陰廣五（二五）は精神病者である許某（四〇）を友人である李彦明に依頼され監護しつゝ第十八列車で座行中泉頭驛附近に於て途中突然水が飲みたくなつたと洗面所の方に立つたが其儘姿を見せず不審に思つた監は直ちに泉頭驛に下車警察官吏派出所に届出で捜査を行つた結果許は泉頭驛北方約二キロの地點に仰向けに倒れ頭蓋骨を粉碎變死体となつて居るを發見された

東京瓦斯 配當年八分

〔東京國通〕東京瓦斯では十三日重役會議を開催、配當を年八分と決定した

人事往來

▲阿部二等看護長以下〇〇名（拉法衛戍病院）十四日午前六時三十分發新站へ
▲岡山中尉以下〇〇名（工兵第〇〇聯）同上卿春へ
▲勝田監獄長（旅順衛戍刑務所）十四日午前七時着大連から
▲喜多大佐（關東軍第二課）十四日午前八時卅分發哈市へ
▲寺田中佐（軍政部顧問）同上ハイラルへ
▲呂榮寰氏（ハルビン特別市長）同上ハルビンへ
▲關中佐（第〇〇團高級參謀）十四日午前九時發承德へ

昨年中の幽靈郵便物 千九百四十五通

配達不能で返却が七萬通 門標と屆けを忘れぬやうに

重要な用件から時候見舞あるひは秘められた桃色の戀文等々……百面相の通信が新京市内のポストや郵便局の窓口に「投函」される數が一日約四十一萬通、市内への配達が四十二萬餘、即ち新京郵便局の昨年中の通信引受數が千四百六十七萬三千四十一通、配達數が千五百三十七萬六千二百十九通で、前年よりも著しい增加で引受のうち受取人の居所不明その他の事情で他局から新京局に返戻されたもので差出人の住所又は姓名が記入してゐないため差出人に返付することが出來ず所謂幽靈郵便物として燒却されたものが千九百四十五通、居所不明で配達することができず發信局へ「返戻」されたものが一日平均二百通の七萬余となつてゐるが右について郵便課の瀧澤主事は語る

從來は煙草を小包で内地に送つたり小包のなかに手紙をいれたり又は手紙のなかに現金をいれてゐたものが多かつたのですがこれらの方は以前御紙によく掲載してもらつたので今頃はずつと減つてきましたが新京の如く家屋雛で一戸のうちに世帶數の多いところでは門の入口に全部標札を掛けてもらひ轉居された時は電話でも口頭でも葉書でもよいから郵便課の方へ知らせていただけば一日二百通といふやうなべらばうな不配郵便物は出ないのです、お互ひのためですから是非一般へお願ひしたいものです

あてなき新兵に 兵士ホームのパラダイス

やう
寒空に銃さる
われにあたたかき
慰めくれる
新兵ホーム
外出はすれど

聖書研究會出席者に 運賃割引

來月十三日から二十二日まで奉天で開かれる朝鮮耶蘇教長老會主催の第四回聖書研究會への出席者に對して滿鐵では左記により運賃割引をなすこと

一、割引區間滿鐵社線各驛から奉天驛往復
一、割引期間二月十二日から二十二日まで通用期間乘券發賣の日から二月二十三日まで

鐵路總局で新採用の殿軍 第九班八十九名着奉

〔奉天國通〕國路總局の日本内地新採用者の殿軍第九班の一行八十九名は本十三日午前八時二十五分元氣に滿ちて來奉、此れで今次の新採用者六百六十名は全部到着した譯である、先着の各班は既に國鐵全線に配置され夫々業務に精進して居るが新採用者は不馴れな極寒と戰ひつつ何れも眞面目に働きその活躍振りは刮目に價するものがある。

鮪が喰へぬ江戸っ子 問屋の臺灣鮪不買が起因

〔東京國通〕江戸っ子に無くてはならぬ鮪が當分口にする事が出來なくなつたのは臺灣方面からの荷主と東京の問屋の爭ひからの不買同盟に起因するものである

北鐵拉林待避驛 貨物取扱中止

北滿鐵路は北鐵南部線拉林待避驛手小荷物及び貨物の取扱ひを中止する、旅客取扱は從前通りである

草津溫泉山中で スキーヤー二名凍死

〔東京國通〕群馬縣草津溫泉の山中で十一日二名のスキーヤーが猛烈な吹雪で凍死したが十日夜來の大吹雪でスキーヤーの遭難が引續き、脅怖狀態である

全新京庭球部の新陣容が成る 本年度は更に飛躍

全新京軟式庭球部の懇親會兼新年宴は豫定の如く十三日午後五時から荒濟寮で開かれたが當日の出席者は石關(鐵事)野村(地事)川越(滿電)折目(益濟寮)黑田(滿州國)手島(同上)熊代(鐵事)小林(檢車區)上野(驛)加藤(地方委員)佐竹(驛)の諸氏で席上、加藤幹事の發議で本年度のキャプテン、幹事長、會計係、新幹事等々の推薦を附議、盛況裡に午後十時ごろ散會したが新幹事の顔觸れは左の通り、なほキャプテンおよび幹事長推薦については大体意向一致を見たが人選は後日に讓ることとした

新幹事(順序不同)

手島、間瀨、佐竹、折目、熊代、小林、川越、唐津、羽根、原口、入江、唐島、石關、上野、福島、青木、川田、渡邊、佐藤、橙田、中村、梅原、松山、髙宮、大串、山下、根岸、青木の諸氏のほか滿洲國体育協會新京支部より黑田幹事長が名譽幹事として入會した

暖かな兵士ホーム

零下三十有余度北滿萬里廣野の白雪をけちらし闘つて武勇颯々たる兵隊さん達も一週一度の日曜に彼等の家庭である兵士ホームのドアーをくぐれば可愛い坊やも同樣だ、まづエプロンかけて接待する母や姉に挨拶する頬べたは兒童のリンゴ顔そつくりだ、中には先客の兵隊さんが上着をとつてピンポンに輪投げに碁、將棋、麻雀と思ひ思ひの娛樂に耽けつてゐる、母の手で廻すレコードもほがらかにこうして遊ぶその暇に十五、六名の當番婦人が心膽こめて拵へたしるこに舌づつみを打ち本當に一日の日曜を有効に暮すのは兵士ホームの兵隊さん達ばかりであらう

除隊兵から 感謝狀

舊臘新京から除隊した兵隊さんから新京兵士ホームに縷々として感謝狀、葉書が八十三通に及んだ、その中には新京兵士ホームの奉仕振りを除隊兵が故郷の親に話したので全く感激したその母親から兵士ホームへお禮狀が屆けられた程である

感想箱から

新京兵士ホームの感想箱には多くの感想を書いた紙片が投げこまれてゐるが讀み上げた兵士ホームの婦人連を泣かせるものがあつた、又和歌や俳句に感想を述べた變りものもあるがその二三を紹介して見

五百米スピードで 日本記録を出す 全滿氷上競技大會第一日

〔奉天十三日發國通〕全滿氷上競技選手權大會及び全日本スピード競技選手權大會は十三日午後一時より絶好の競技日和に惠まれ岡部審判長審判の下に奉天國際グラウンドに於て催されたが五百米スピードに於て安東の石原選手が四七秒五で日本記録四八秒を破り、日本新記録をつくつた

尚撫順の三代正勝選手は滿洲レコードの四八秒二、安東の木谷德雄選手は四八秒七で何れも好成績であつた、引續き十四日午前九時より女子五百米、フイギュアー、スケイチング、一萬米オープンコース、タイムレイス等が行はれる筈

街の日記

新京廉賣所 四月からの開場 疑問

昨年末より祝町金剛寺内で開店中であつた新京廉賣所は結氷期に入つたため十二日閉鎖したが解氷期の四月からの再開は目下のところ未定で同寺の本堂建立幼稚園設置が今春予定されてゐるので再開することは困難と觀られそのため笠町夜店の露店商人は夏季夜店期までは露店場所を失ふこととなつた

けふ十五日 左義長の神事

新京神社では十五日午後一時から例年の通り左義長の神事を執り行ふから正月用ひた松竹や七五三繩やそのたいお札などを粗末にせぬやう取纏めて持寄られたいと、左義長の神事は右の品を烽火をもつて燒き棄てる行事である

大和化粧院好評

大和通り三浦洋行支店階上、河野光江女史經營なる大和化粧院は周知の如く昨年十月開業未だ日は淺いが仲々優秀だと好評流石マリーヌウイズ化粧院出身東部に於て多年研鑽せる技量と女史の親切さに俟つて人氣、前新京署長武波氏令夫人宇山夫人等上流奥樣方令嬢連の顧客多く全く氣樂なきトイレツトルームとして盛況見事の出來榮で河野女史の前途益々期待せられてゐる

落しもの

▲新京中崇智路胡同吉田九平氏方吉岡梓夫氏は十二日午後十時ごろ日本橋通で風呂敷包一個在中品食パン、靴下一足、冬シャツ一枚封筒二通手紙一個を落し

▲新發屯集台住宅加藤幸子さんは十三日午後四時ごろ市内錦町四丁目五番地先で風呂敷包一個在中帶締一個時價十五圓支那羽二重時價三十五圓を落した

盜難屆

▲新發屯滿水組材料置場阿部根松氏は亞鉛板六十枚時價三十六圓を十三日午前三時二十分ごろ窃取された

▲東四條通八番地食料雜貨店飯村謙三郎氏は十三日自宅前に置いてあつた白米三斗を何者かに窃取された

全滿かるた大會 本社主催、今冬を飾る催し

早くも大人氣

近頃素晴しいカルタ熱の擡頭 偲ばるゝ當日の盛況

近ごろ麻雀がやゝ下火になつたに引き換へて日本古有の遊戲「かるた」が漸次盛んになつて來たのは見逃すことの出來ないものがあり、わが新京でも多數かるたファンが到るところ或は個人競技に或は團体競技に夜の更くのも知らず「興味」の中心となつてゐる、わが社ではこれら熱心な多數かるたファンの希望によつていよいよ來る二月十一日紀元の佳節をトして全滿かるた大會を盛大に開くこととなつたがこの計畫が一度本紙によつて發表されるや擡頭しつつあつたかるた熱を一層助長し素晴らしい前人氣を以て今や當日の盛觀が豫想されてゐる、全新京かるた大會は事變前わが社の主催で例年行はれてゐたもので、その都度全市民の血を湧かして來たが事變後一時中止されてゐたもので今回は舊「長春」時代と滿洲國の事情も異にし以前の全新京かるた大會を全滿かるた大會と改め名實ともに全滿洲の精鋭をすぐつてこの催しを更に大規模にまた最も有意義に迎へやうといふにあつて參加資格は老若男女を問はず多數再れと思はん人々の參加を歡迎することになつてゐる詳細は本紙社告面の通りで申込締切りは二月五日となつてゐるが準備の都合もありなるべく早く申込まれば誠に結構である

濱島氏から挨拶電

首都警察廳警務科長を辭し歸國の途にある濱島榮朗氏から十四日左の電報を本社に寄せた

離滿に際し厚く御禮申上ぐ貴紙を通じ各位によろしく

フオード第二世の本年度景氣觀

〔デトロイト十二日發國通〕フオード第二世エドセル、フオード氏は十二日一九三四年自動車工業界の景氣を打診して語る

産業界一般の景氣は頗る良好と見受けるから我社も七割五分の增産を行ふ計畫で今年は必ず景氣はよくなるだらう

教育、土木で 實に卅三萬圓 明年度公費豫算内譯

昭和九年度新京區公費歲入出豫算は既報の通り總額五十四萬圓の多額に上り、本年度の總額三十五萬七十圓に比較して素晴しい躍進振りを見せてゐるがその内譯は次の通りである(單位圓)

歲入

科目	金額
課金 戸數割	一三二、一一九
賦課割	一五二、八九六
手數料	四六、四〇五
諸口收入	二一、二一〇
補給金	一九一、五五七
歲入總計	五四三、三八二

歲出

科目	金額
△經常費	
總係費	一三、四七八
會議費	一、四三〇
土木費	一一六、六一三
教育費	二二一、六七二
圖書館費	一三、五四七
衞生費	二〇、四七三
警備費	三三、九一二
公園費	一三、二六八
社會事業費	一〇、八六四
墓地及火葬費	一、八四九
屠畜場費	五、二五四
報時費	七〇
補助費	三、〇一〇
諸支出	一、四〇〇
豫備費	三、〇〇〇
經常費計	五三七、二一九
△臨時費	
土木費	三、五〇〇
公園費	二、六六三
臨時費計	六、一六三
歲出總計	五四三、三八二

地方委員會本會議 十八日に開く

既報昭和九年度新京區公費歲入出豫算を附議すべき新京地方委員會本會議はいよいよ來る十八日午後一時から地方事務所長室で開催されることになつたが、會議を終つて荒木所長の招待で料亭曙において新年宴が開かれるはずで十四日各委員へそれぞれ通知狀が發せられた

撫順炭の賣惱みに 滿鐵商事部で對策を考究

〔大連國通〕滿鐵商事部では内地に於ける撫順炭需要の激增を應急採炭擴張に依り漸く需要者側の要求を滿して居るが、國防工業に相次ぎ綿業界の活況に依る工業用炭の增加は當局の豫想を裏切つて益々增加の一途を辿りつつあり、供給戰線に全く異算を來し加へて土地賣り方面でも當初八年度に於ては滿洲國側炭礦の沿線進出が相當考慮にいれられたに拘らず殆んどその進出をみず、土地賣り方面の需要も增加して賣り惱みから採炭惱みと一轉して目下九年度乃至それ以後年度に於ける採炭量の決定には相當苦心してゐる現狀に

一、内地向け輸出炭の需要、狀の永續性如何
一、土地賣炭の增加如何
一、滿洲國内諸業の需要量如何

等の諸問題に就き及び停頓中の炭礦會社の實際能力發揮時期等にみて現在七百萬噸の採炭量を何處まで擴張するかに就き目下事務的技術的兩方面から研究されてゐる、尚炭礦會社の設立を他所に仍子山炭層の買收等は新たに生れて來る地賣方面の需要に充つべく準備したもので商事部では特に今年からは家庭用炭の普遍化を始め炭質に依る販賣及び需要側の撫順炭以下各炭礦の統制販賣を合理化せんと研究し一般家庭及び需要側に對し適切なる炭種の選定を促す爲凡有る方面から需要供給の調査に沒頭してゐる

京釜、京義鐵道の改良工事豫算 今議會提出

〔東京國通〕朝鮮總督府に於ては本年度より五ケ年繼續事業として豫算七百七十萬圓を以て京釜、京義二鐵道の改良工事を仰ぐこととなつた右により釜山新義州間に於て四時乃至五時間の短縮を見る事となる譯である

王妃樣の夢 (花街の噂)

千鳥に低て、やめて、また出て、それからまたやめて、暫らくは東二條通りのあるところに巣ずまゐ、晝も晩も、爪びきの君ぴ駒、さては蓄音機をかけたり、支那服を着て散歩或ひは女中をつれて買ひ物と、この朋輩に羨まれてゐた千代丸こと酒井靜江さんてさうした氣樂な身分にもどこか充たされぬ何物かがあつた

×

むせうなちかごろまたもや新興、橋南花街扇芳亭に靜香と名のつて返り咲き、ありやどうしたことでせう？と首をひねつてゐる人がありましたが恐らく單調な生活に倦怠を來したからなんでせう

×

絃歌さんざめく歡樂境からこれはまた反對のさびしい彼氏若し來らざる時は壁とにらめつこしてゐるなんて耐へきれない憂鬱るだつたからなんでせうね、なんしろ朗らかな彼女、かつて、蒙古の王樣に戀し、その王妃樣となることをゆめみて居たこともありましたかです

×

氣の毒にもそれは片戀に終りましたが、ねへ駱駝に乘るのはこわかないでせうか？なんてよくまじめできいたものです、金銀の鞍を置いた駱駝の背にゆられ、あかい夕陽を浴びて涯ない砂漠を行くたんてお伽話のお妃さまとなれる日を待つてたほど朗らかな彼女でしたが、今は如何？

イラク シンガポール間 編隊飛行 十四日に決行 英空軍最初の試み

〔ロンドン十三日發國通〕英國空軍最初の試みであるイラク、シンガポール間一萬二千哩の編隊大飛行は愈よ十四日決行されることとなつた、今回の壯擧に參加するのは第八十四飛行中隊所屬爆擊機四機並に運輸爆擊機二機で、コースはイラクから印度のカラチ、カルカツタ及びビルマのラングーンを經てシンガポールに至る、飛行隊はイラク出發以後連日飛行を繼續し前後二週間で一萬二千哩の行程を翔破し二十七日迄に目的地シンガポールに到着する豫定である

飛行小包の稅關檢査 新京と奉天で 愈よ十六日から實施

現在北滿に飛行機で輸送される小包は安東で稅關檢査をうけてゐるが稅關課稅の本義からいへば現地價格に則した課稅をすることが理想であるも滿洲國との條約では日本の稅官吏をおいて課稅することが出來ないこととなつてゐるため問題となり豫てから關東州と外務省との間に交渉がすすめられてゐたがこの程漸く滿洲國政府の諒解を得たので十六日から新京、奉天の二ケ所で飛行輸送小包の稅關檢査をすることとなり新京の檢査にはハルビン稅關所新京駐在の佐々木克己氏が行ふこととなつてゐる

今朝氣溫 廿七度三 本年の新記錄

十五日の天氣西の風晴、十四日の氣溫最高零下十四度一、最低二十七度三

十五日(月曜日) 新京

午後五時〇分子供の時間(奉天より)兒童劇魔法の鏡 湖千併サークル
同 五時三〇分ニュース(英語)
同 五時四〇分ニュース(露語)
同 五時五〇分ニュース(鮮語)
同 六時〇ニュース(東京より)
同 六時二〇分語學講座(滿語) 講師 高宮敏逸
同 六時四〇分語學講座(日語) 同
同 七時〇分演藝(滿語) 植松金枝
同 七時三〇分講演(同) 執政府內務處內務長 寶熙 執政德業紀要
同 八時〇分ニュース氣象豫報プロ豫告(滿語)
同 八時三〇分 邦ニュース(東京より)
同 八時四五分ニュース氣象豫報
同 九時〇分演藝琵琶 眞鍋旭象 引續き翌日プログラム豫告

慶安異聞　艶魔地獄

（舞臺上演映畫化）

玉水三郎

（繪）長谷川小信

（百四十四）

遠り燐閃（九）

牛込矢來町裏の、淋しい一軒家であつたお辰婆の家は、何一物も殘らず、全部烏有に歸して了つた。主人お辰の行方は、丸切り判らなかつた。

隣家は三四十間の空地を隔いでゐるし、表通りは紺屋の張場を隔てゝゐるので、近所の交際は一切してゐなかつた。

家主は其空地と共に持つてゐる同町の染物屋海老屋といふ者だつた。

「もう建直しか、賣して空地で貸さうかと思つた家が燒けて了つて丁度可かつた。それに住み人が、代々家賃を拂はない。中にも今のお辰婆さんは、半歳も家賃を滞らせて、立退いて呉れと言つても、行先がないと言つて泣附くので放つて置いた。マア之でサッパリして可かつた」

海老屋善六は損失を恐れず、却つて喜んでゐた。

お辰は失火罪で、町奉行の調べを取けるが怖いか、鎭火前後とも聊にも顔を見せなかつた。

それから三四日經つて後、此町内の人達が妙な噂を始めた。

「加賀樣のお火消しが早かつたので、町火消しと一緒になつたけど何しろ北風が烈しかつたのと、久しく雨がなくて乾き切つてゐたのとで、一軒丸燒けになつて了つた」

「マア類燒の一軒もなかつたのが、何よりの事だ」

「あれは十五日の四つ時でしたね。あの晩に限つて、人出入りの多かつたのを、私や知つてゐますが、全體あのお婆アさんの正體が判らないので、何うして火事が出たのか判りませんね」

疑問を差挾んだのは、隣家と隣せられる三十間の空地を隔てた古着屋の女房であつた。

其隣りの駄菓子屋の女房は、それに耳を欹てた。

「マアお榮さんも知つてゐたの。私もあの晩三人連れの男が、何だか忽々言つて、闇の中を大きな物を擔いで入つたのを見ました」

「あの婆さんは女衒もするといふから、事に由つたらそりや人間ぢやなかつたか知らん」

「さうかも知れません。それに時々博奕の宿もしてね」

「さう／＼。先月も大喧嘩があつて、何處の男か出刃庖丁を片手に一人を追駈けて大騒ぎした事がありましたね」

「ア、あれは馴れ合喧嘩で、仲直りの振舞酒に有附かうとして、あの騒ぎをやつたんだつて、跡で聞いて笑つた事がありましたつけ」

「四人も五人もゐたのに、四つ時に何で火事を出したんでせう」

「近所の者が駈附けた時には、あの家に一人の影も見えなかつたさうですよ」

「ぢや火つけかしら」

「燒跡を誰も調べないのか知らん家主さんでもね」

こんな噂が同心の耳に入つた。手先目明しは命に依つて、家主善六に傳へ、火元調査や、出火原因に就て、一應嚴重な取調べをした。

善六も家主として、灰掻きをする事になつて、燒失後五日目に燒土を掘返した。

果然怪事件が起つた。燒け焦げ死體が一つ發掘されたのだ。

一月十五日　月曜　丙戌　赤口　收　心宿

●一白の人　氣苦勞の絶ゆることなき日百事控ゆるが吉　丙と亥と癸が吉

●二黒の人　難路を越ゆるには足拵へが肝心なり病注意　庚と亥と寅が吉

●三碧の人　膨れ過ぐれば終に破裂する事風船玉の如し　乙と丙と癸が吉

●四緑の人　利に利を加へんと慾張れば却て損失を招く　乙と己と丙が吉

●五黄の人　德望高く衆人の上に立ちて權威益々加はる　丁と辛と丑が吉

●六白の人　從來の辛酸に報はるゝに成功の喜びある日　辛と戊と癸が吉

●七赤の人　氣運佳良にして開店起業發展を來たすべし　庚と辛と寅が吉

●八白の人　十分の結果を望まず八分目にて止れば安全　丁と庚と亥が吉

●九紫の人　活氣加はると共に功績亦大に揚るべき吉日　甲と乙と巳が吉